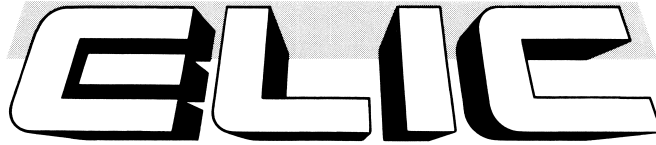


電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence



2024年8月10日

No 440

1部100円

発行者；ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

第6回電機リストラ反撃交流集会

会場15人・中継27人の42人参加

電機のリストラとの闘いを支援し、交流する第6回反撃交流集会が、28日(日)に東京の南部労政会館で開かれました。参加者は、42人(会場15人、スカイプ27人)でした。

集会では、東芝・岩通・オムロン・ソニーなどのリストラとの闘いが報告されました。

米田委員長がリストラ反撃で講演



電機・情報ユニオンの米田委員長は「電機リストラとの闘い…資本の攻撃の特徴と闘い」と題した講演を行いました。止まることのない電機のリストラは、24年3月時点(11年より)

で、電機大手10社で71万人もの労働者が削減されています。電機リストラとの闘いで「ビジネスと人権」の活用と順守を求めていくことの重要性が強調されました。経団連・電機大企業ともビジネスと人権に基づく「人権方針」を明らかにしており、それを名実ともに履行させる闘いは、団体交渉や労働組合の運動に活かせる、としました。

報告は東芝・岩通・オムロン・ソニー

(1) 東芝でのリストラの闘い(今井さん)

東芝では、5月16日に新中期経営計画(東芝再興計画)が発表され、この中で人員適正化を掲げて、東芝グループ全体を対象にした早期退職制度を実施し、4000人の従業員を削減する、としています。

現在、東芝の事業所やグループ会社で、早期退職制度の説明が行われています。①各事業所、グループ会社に割り当てられた削減人数の説明②早期退職制度の退職日は、今年の11月末とする③対象年齢は50代とする④東芝の労組は了解している⑤早期退職の面談は、管理職



は7月中旬から、一般従業員は8月中旬から開始する、とのこと。職場からは、「いつまでリストラを続けるのか、止めてください」と強い抗議の声が上がっています。

東芝の職場を明るくする会には、現場の労働者からの声が寄せられています。「粉飾決算が原因で、そのしわ寄せを受けて数年前に従業員の首切りを行った。もう首切りはしないと会社も言っていたのに、東芝本社から人員を削減しろと指示してきた」「私の職場は忙しくて中途採用を行っている。それなのに早期退職制度の説明が行われ、人を減らすといわれた」「この10年、会社再建で必死に働いてきた。賃金カットも経験した。50代になった途端に早期退職と言われ、信じられなくてショックを受けている」「早期退職をすると、までも優秀な人が辞めてしまう。これでは技術力が低下して事業に支障がでてしまう」等。

(P2に続く)

今月号の紙面

- ①第6回リストラ反撃交流集会
- ②東芝、岩通、仏ロ、ソ、の報告
- ③65歳以降の実現へ、岩通の闘争
- ④日立労組本部への要請行動
- ⑤「いの健センター東京」年次総会
- ⑥ラプラス「農作業」吉村さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇「第37回総会」案内
集積回路。